



26議委第124号

平成27年3月5日

南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

南会津町産業建設委員長 湯田 哲



委員会調査報告書

本委員会の所管事務調査について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

1 調査事件 (1) 平成27年第1回臨時議会補正予算等説明(議員控室)

①除雪費について

②会津縦貫南道路について

(2) 現地調査[町営住宅寺前団地]

(3) 南会津町建設協議会との懇談会

2 調査の経過 平成27年2月6日(金)

出席者:湯田 哲・山内 政・星 光久・楠 正次

高野精一・渡部 忠雄

事務局:鈴木 雄蔵

3 調査の結果

(1) 平成27年第1回臨時議会補正予算等説明(議員控室)

説明者:建設課長・阿久津課長補佐

◎説明事項

①除雪費について

・12月の経費が約1億3,000万円で既に当初予算分が執行された。1月の経費は約1億4,700万円で予備費を充当した。2・3月分で約2億の増額補正を予定している。

②会津縦貫南道路について

・現在は4工区に着手しており、残土を5工区に利用したい。
・関係区長への工事概要説明を経て、3月17日に町民への説明会を予定している。
・今は500m幅の想定線であるが、来年度から調査測量に入り、約2年の期間を経て200m幅に範囲が絞られる予定である。

(2) 現地調査[町営住宅寺前団地]

説明者:建設課長・阿久津課長補佐・五十嵐建築営繕係長・白川主査・星主査

◎説明事項

・老朽化による建替工事で、全体で7棟14戸の建設を予定している。
・本年度は1棟2戸を整備し、平成27年度～平成30年度までの期間に6棟12戸を整備する。
・段差がなく、トイレ・風呂場等に手すりがついているバリアフリーで平屋建ての設計とし、材料は南会津町産材を使用していることなどが特徴となっている。

(3) 南会津町建設協議会との懇談会

対応者:南会津町建設協議会役員

(東邦土建・鈴木建設・光和設備・久米工業・大橋工務店・泉建設・丸惣建設)

◎懇談内容

・南会津町建設協議会は旧田島地域の26社で構成している。門戸は開いているが西部地域の企業は加入していない。

①町発注工事について

・町からの受注状況は、平成22年度が約13億円、平成23年度が約8億6,000万円、平成24年度が約10億円、平成25年度が約9億、平成26年度が約7億5,000万円で、ばらつきがあるとともに減少傾向である。このため、社員の採用に踏み切りにくい。
・4月から5月の端境期に町単独事業の早期発注をお願いしたい。発注が遅いと工事計画が

立てられないため作業員の確保が難しい。

- ・年度当初にある程度の発注予定を教えてほしい。発注予定がない場合は、外に仕事を求めることができる。

②新庁舎建設について

- ・新庁舎建設に地元企業として是非とも参入したい。町長とも何度か懇談して強く要望しており、地産地消を含めて地元企業として新庁舎建設を成功させたい。
- ・陳情書を本年3月議会に提出したいと考えている。地元企業による共同企業体（JV）での対応が可能である。
- ・大手企業が落札すると（地元企業と大手企業とで落札価格に差がない場合でも）、地域活性化につながらないのではないか。
- ・大手企業は一次・二次・三次下請けを持っており、地元企業が二次・三次下請けになると苦勞する。
- ・地元企業で建設できれば、資材等を地元から調達するなど地域経済効果に期待できることから、オール南会津で進めていただきたい。
- ・「優雅」の建設では南会津で1社しか入れなかった。これらの反省を活かしてほしい。
- ・今後、「大手ゼネコンでなければだめですよ」という話が出た場合には、地域活性化のためにも議会として全面的な協力をお願いしたい。

③後継者育成について

- ・今後、土木作業員も含めて除雪作業などのオペレーター不足が予想される。若い人の後継者育成が課題であり、町にもその育成への支援や対策をお願いしたい。
- ・かつてのように、田島高校に農林業科などが再設置され、その卒業生に入社していただければ社員の育成期間も短縮できると思われる。議会側の働きかけにも期待している。

4 所 見

●新庁舎建設関係

- ・新庁舎建設工事は、特殊な工事以外は地元企業で対応できることが確認できた。
- ・業者の決定に当たっては、落札価格だけではなく、議会として何が地元活性化につながるのか、何が町全体のためになるのかを考慮すべきである。
- ・地元企業が新庁舎を建設し、できるだけ地場産材を利用して地元商店を活性化させ、町全体の利益となる施策に対して、議会としても協力すべきである。